



No.79  
 令和2年8月15日  
 発行 高津卓球同好会  
 会長 森下徳人  
 編集 近藤翠・大森和志

二年間を振り返って

大森 和志

阿部さんから会長を引き継いで二年ちよつと経ちました。  
 この二年間で、「高津卓球同好会は、会員の皆が少しずつ力を出し合っ

て運営されている」と言うことを実感しました。

役割を分担し、力を合わせることで色々な行事がスムーズに行われています。会長は全体の様子を見ながら、個別案件の判断をすることが仕事になっていきました。(敢えて名前は出しませんが)ユニフォーム更新、卓球台購入、定例行事等で当会の運営を支えていただきありがとうございます。

と言うことで、森下君を新会長に迎えることになると思っていれば、さ

新新型コロナウィルスによる体育館の使用中止、公共施設の使用中止、使用中止期間の延長などその時の状況に合わせて、各種行事の中止を判断、練習再開に向けての準備と先の見えない中で大変



森下新会長



2020年7月12日総会(松本かなえ撮影)

新型コロナ禍での練習について

長内 進

新型コロナの感染が収束するどころか全国的に感染者数が増大する状況です。高津卓球同好会では大森前会長のリーダーシップにより6月20日に「新型コロナ感染対策の基本方針」を定めて7月4日から練習を再開しました。

とにかく体育館での練習で感染者を発生させないことが目標です。感染者が発生して南高津小に迷惑を感

①体調管理：練習前の体調確認  
 ②消毒励行：専用消毒液の使用  
 ③マスク着用：飛沫飛散の防止  
 ④接触機会減少：ゲスト練習中止  
 ⑤練習時感染対策：三密回避他  
 ⑥出席簿徹底：高津連絡網の整備

練習では熱中症にも注意が必要になるので、これまでの練習実績を踏まえて練習時のマスク着用は強制しなくてはならないと思います。

日常生活からも感染防止を心がけ、ウィズコロナ社会の「新しい生活様式」を率先して当分辛抱していきましよう。

コロナと還暦とオリンピックとこれから

福原 二朗

三年間の単身赴任を終え、退職届も出して八千代に戻りました。



東京オリンピックのボランティア活動をしようという準備はしていましたが開催が延期されました。選手の心情は別

還暦を迎えた人は集落の鎮守に参拝する道すがら、十字路で小銭を撒くのが国元の習わしでした。

先日近所の路上で撒き銭をして妻に拾ってもらい、新木戸八幡神社に参拝しました。

自己紹介

平尾 孝志



昨年7月より高津卓球同好会に入会させて頂いておられます。平尾孝志です。

卓球歴は中一時代に部活でかじった程度です。かじったというのには、部員数も多く卓球台には立てずに球拾いと声出しの方が多かったとい

少しはやれるようになってきたか??と調子に乗り市民大会・会長杯に参加しましたが、あっけなく全敗。技術を積み上げることが重要な世界なんだなと感じています。

★リモート飲み会盛大に開催!!  
 コロナ禍の中、6/17有志で「三密」ビデオ通話による。リモート飲み会(リハール)を実施しました。4月5月と、卓球及び酒宴が出来るまででしたが、長内さんの提案で、伊藤さん・山元さん・真新さん・五十嵐の5名で、夜9時から一時間弱それぞれのグラスで乾杯し、近況を話しました。新しい生活スタイル(?)としては、画像も音声も良く参加者は満足(卓球よりも満足?)(笑)した時間を過ごさし、今後継続開催に向け意欲満々で、お開きとなりました。

★巣ごもりコロナも楽しい!

清水 義秋

緊急事態宣言で卓球は「法度!」外出自粛令が世の中で報じられ、外出も散歩と生活の必要物資の調達だけ。それも夫婦でなく「お一人様でのご来店を」とDIYショップでアナウンスが流れるころ、毎日、風呂上りに体重計を見るのは恐怖のなにものでないことに気づき、「体カづくり」でなく「体重減らし」のため、腹筋100回、縄跳び100回、自転車こぎ15分、そして素振り500回を毎日のメニューで行い、自分でも驚くほど1カ月間も継続できました。

★コロナ禍に思う  
 長かった梅雨が明けて取り敢えずホツとしましたが、コロナウィルスはとどまる所を知らず一体どこまで続くのでしょうか。  
 リモートとかオンラインやテレワーク等、この状況下無理にでも頼らざるを得ない、文明の利器には共鳴するのですが、人と人との思いやりをベースに、その事を大切に考えたいと思います。

コロナウィルスも卓球練習や読書庭いじり猫散歩(笑)で楽しい事を見つけないがら過ごします。  
 レディースの試合やオリンピックが開催されるのを、首を長く待つ望みながら、収束を心底願う私です。  
 ○連日の猛暑で熱中症患者が急増。新型コロナの症状に似ているため医療現場の悲鳴が聞こえてくるようです。コロナの感染力の不気味さは、異常降雨の恐ろしさや今夏の連日の酷暑と相俟って、心の奥底に「大きなしこり」を産んだ。  
 その「しこり」が解けるのは、人間の叡知によってコロナから解放される時でしょうか。  
 近藤 翠



新川の河津桜

【行事予定】

- 役員会 9月6日
- 第108回ランク戦 10月18日
- 忘年会 12月5日
- 部内親善試合 12月6日
- 新型コロナウィルスの影響で中止になることもあります。